

3月1日～7日は

春の火災予防運動 期間です！



消防団

瑞穂町消防団だより



令和4年2月

第 16 号

発行:消防団広報誌編集委員

小学生防災教室

10月4日(月)第三小学校で、10月25日(月)には第一小学校で開催された小学生防災教室へ地域課職員とともにゲストティーチャーとして参加しました。この防災教室は、四年生を対象に社会科の授業の一環として行われ、地域の防災について学ぶものでした。

授業時間に限りのある中で行うため、クラスごと4グループに分け、住民部参事亀山危機管理官の防災講話、小学校敷地内にある備蓄倉庫、応急給水栓、マンホールトイレ、防災無線での通信について私たち女性消防団員は、実技指導の補助などを行いました。

最初は固いイメージの授業だったのか、子どもたちは緊張している様子でしたが、冗談を交えながら接していくうちにマスク越しではありましたが敷地内にある防災設備の体験時には、「実際の大地震の時にはここに

いる皆さんも使用するかもしれないよ」と話をする、設置の仕方や使用方法など詳細について質問があり、とても頼もしく感じました。

最後は、サプライズでライスクッキーやクラッカーの非常食のプレゼントをして喜んでもらい、「将来は、みんなで瑞穂町消防団員になって瑞穂町を守ろう！」と消防団のPRを行いました。(担当 本部)



上級救命講習会

10月24日(日)、31日(日)、団員を対象に上級救命講習会を行いました。応急手当の知識と技術を学び、定期的に再学習することで、救命活動に対する意識の高揚を図っています。上級救命講習会ではこれまで受講してきた普通救命講習会の内容に加え、小児・乳児の心肺蘇生法、外傷の手当て、保温法、体位管理法、搬送法を学び、より幅広い対象と状況に対応した応急手当を実施することができます。

今回、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行ったうえで、団員一人ひとりが上級救命の知識と技術習得のため、1日を通して真剣に取り組みました。この講習会を通じて感じることは、心肺蘇生法やAEDの活用を例に挙げると、一人でできる活動はどうしても限られるということです。必要なのは、傷病者が発生した場合、一人でも多くのバイスタンダー(その場に居合わせた人)が互いに知識や技術を發揮して協力し合うことが最も大事だと思います。

今回習得した知識や技術をもとに、消防団活動やそれ以外でも傷病者が発生したときに勇気をもって行動できるよう意識を高めていきたいです。

(担当 1分団)



秋の火災予防運動

日頃より町民の皆さまの消防活動に対するご理解、ご協力、誠に感謝しています。11月9日から15日までの一週間、秋の火災予防運動を実施しました。

この運動は、湿度が気温に伴って急激に下がり始めるこの時季、火災が非常に発生しやすくなるため、ポンプ車の警鐘を鳴らしながら町内を巡回し、火の取扱い、火の元の確認を呼びかけることで、防災意識を喚起し火災を防ぎ、町民の皆さまの生命、財産を守ることを目的としています。



運動実施期間中は、本部を含め各分団が持ち回りで毎晩、町内を巡回しました。

また、運動の実施に際して、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分な配慮をしました。

地域一丸となって住宅火災から大切な命を守りましょう。

(担当 4分団)

令和4年東京消防出初式

1月6日(木)江東区有明の東京臨海広域防災公園にて、雪が降る寒空の下、令和4年東京消防出初式が行われ、多摩地区からは立川・武蔵野・三鷹・日野市・奥多摩・瑞穂町(第3分団)の消防団が参加しました。式典では、【消防総監の式辞】や【東京都知事の告示】、【東京消防庁音楽隊・カラーガード隊の演奏演技】、【消防演技】等が行われた中、瑞穂町消防団は【機械部隊分列行進】と【消防団活動】に参加しました。【機械部隊分列行進】は、消防車両と消防団車両の計62台と消防ヘリコプター3機により車列を組み、式典会場を行進しました。行進時には、最新車両や特殊車両等の紹介を交えた迫力ある行進でした。【消防団活動】では、震災時を想定した消防団の災害活動(消火活動及び救助活動)を行い、瑞穂町消防団は、消火活動に参加し、他地区の消防団と建物火災の消火活動を行いました。その他、【江戸消防記念会による木遣り(きやり)行進や、はしご乗り演技】は圧巻の演技でした。なお、東京消防出初式は公式チャンネルで動画配信されています。ドローンによるリアルな現場の映像をぜひご覧ください。

(担当 3分団)



東京消防出初式QRコード



12月26日(日)から12月30日(木)までの間、歳末特別警戒を実施致しました。12月28日(火)には、年末の寒空の下、第5分団の詰所で栗原副町長をはじめ、清水都議会議員、高宮福生消防署長、村田団長などから激励の言葉を頂き、身が引き締まりました。歳末警戒の内容としては、町内や詰所等を巡回して広報活動を行いました。冬場は乾燥していることもあり、火の元の注意が必要な時期になります。また、コロナ禍という事もあり、自宅で過ごしている方も多くなっていると思います。少しの不注意で大きな火災につながる季節でもあるため、町内の皆さまの防火意識向上の一助となるよう、ポンプ車での広報活動を行いました。本年もより一層邁進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(担当 5分団)

歳末特別警戒

瑞穂町消防団出初式

1月9日(日)に瑞穂町消防団出初式が挙行されました。午前中は、本部車両と全分団のポンプ車で各町内会や詰所等を巡回し、広報活動を行いました。

午後の式典は、新型コロナウイルスの影響もあり、式典の参加人数を最小限にし、長岡コミュニティセンターでの屋内形式となりました。昨年と同様に一部のプログラムは中止となつてしまいましたが、来年こそは新春の青空のもとで一斉放水できることを期待し、一年間気を引き締めて活動していきたいと思ひます。

また、今年も火災による死者ゼロを継続し、約四十二年間にわたり火災による死者を出さずに活動できたことは、住民の皆さまのご理解とご協力の賜物であると思ひます。新型コロナウイルスの影響で訓練の機会も減少していますが、数少ない機会を大切にして、より一層邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(担当 5分団)



消防総監特別優良表彰

このたび、瑞穂町消防団が、消防総監特別優良表彰を受賞しました。消防総監特別優良表彰は、規律厳正にして訓練などに精励し、かつその成績が特に優秀な消防団に東京消防庁から授与されるもので、日頃の活動が認められた瑞穂町消防団が選ばれました。

1月18日(火)の授与式には、清水洋文消防総監が役場庁舎へお見えになられ、祝辞をいただき、団を代表して村田団長、高橋副団長へ表彰状と消防総監表彰旗の授与が行われました。

(担当 本部)



災害情報メール配信
町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスで登録をして下さい。

QRコード



メールアドレス
mizuho.saigai
@mpme.jp

広報誌編集委員

本部 川嶋浩康 副団長・日置高明 副団長
1分団 竜田昌哉 部長・小野裕輝 部長
2分団 根岸智也 部長・榎本竜也 部長
3分団 吉岡 聡 部長・尾作真一 部長
4分団 濱本賢吾 部長・三浦 卓 部長
5分団 加村嘉章 部長・細渕通秀 部長
消防団事務局(役場 地域課内) ☎042(557)7610